

## 担任中心で行う外国語活動

新潟・太夫浜小学校

過去3年間、校内職員研修のテーマとして国際理解教育で英語活動を取り上げ、職員の指導力向上に取り組んできた。その成果を生かしながら、今年度から本格実施された外国語活動に、次のように取り組んでいる。

### 【教材】

多くの学校では「英語ノート」を基にして年間の指導計画を立てていることと思う。当校も同様であるが、「英語ノート」については来年度は配布されないことや、それに代わる教材が不明ということから、当校では子どもに合った教材・職員が使用しやすい教材を独自に探し、それを使用している。外国語活動の指導に慣れない職員が指導する場合、よりどころとなる教材を持つことは大切である。

### 【授業の流れ】

授業の基本的な流れを作って指導に当たっている。当校では、基本的なパターンとして、「英語であいさつ」＝「アルファベットの歌やチャンツでウォームアップ」＝「メインの活動」＝「授業の振り返り」という流れで活動を行っている。メインの活動には、テキスト・絵本・ゲーム・アクティビティー等々、そのときの内容によって教材や活動を使い分けて行っている。

### 【ALT・地域ボランティア】

授業は「担任＋ALT」のチームティーチングで行っているが、あくまで担任がメインティーチャーであり、ALTはサブである。授業の内容や指導プランを作ることは担任が行っている。授業をALTに丸投げにすることはしない。市教委から派遣されるALTの派遣回数は年間20回程度であり、年間35時間の外国語活動をすべて派遣ALTとのTTで行うわけにはいかないため、当校では地域からTTをしてもらえるボランティアを探し、お願いしている。幸い、当校の卒業生で地域で英語教室を開催している方の協力が得られ、ほとんどすべての授業をTTで行うことができている。大変に恵まれた環境であり、そのような環境を整えることも、効果的な授業を行うことの必要条件であると考えている。

劇をしたり、絵本に出てくる料理を実際に作って食べてみたり、様々な活動を取り入れて外国語活動を行っている。「英語が好きになった」「英語でALTの先生に話し掛けられるようになった」など子どもたちの評判も上々で、力も着実に付いてきていると感じている。